

意見

- ・経過報告会の時点でも市民や保護者への周知不足の指摘が数件出て、それに賛同の拍手があるのは市民が納得していない証拠。スケジュールを延期して、もっと周知徹底を市民の納得を得ていくべき。まだまだうわさとしか思っていない人もいるとの指摘を重く受けとめよ!!
- ・18ページの31億円の削減効果は過大な数字を認めるような答弁があったので、ここは十分見直すことを求める。
- ・三重県四日市市のPFIによる4校一度の建てかえに関し、総事業費60億円との説明でしたが、そもそも事業は、何年前のことでしょうか。10年前以上の建設費を何の注釈もなく示すことは、事業費を小さく見せようとするものではないでしょうか。オリンピック、東日本復興による建材費、職人不足が見込まれ、建設費が高騰すると認めながら、「60億円」を注釈なく発表するのは、市民に誤った情報を提供することになります。発言通告ではありませんが、発言は慎重にお願いしますということで書きました。
- ・子ども達だけでなく、住民負担が今後考えられる。短期、中期、長期の予算額を全部資料として提示せよ!国庫負担等が1/3あると言われているが、あとの2/3の400億円をどのように返済するのか?どのように考えているのか説明せよ。
- ・市長はどうして出て来ないのですか?
- ・学区再編・転籍を行うにあたり、地域と一体とならない限り、学校での問題は解消できないと考える。人を増やしたり、カウンセラーがいるだけでは難しい。地域、特に学区がばらばらになる地区との再協議が必要です。転籍の際の対応策に具体性がない。他地域での実例をもとにした策がこの時点で出ていないのは問題。
- ・小学5年生に娘がいます。本日のお話で中学3年になる時に転籍となっていました。とても不安です。雁屋地区の小5、小4の児童の転籍に反対することと、中1に入学するときに西中に行けるよう指定校変更を希望します。併せて、雁屋在住の小5、小4の児童のいる保護者への説明会をお願いしたく思います。よろしくお願い致します。本日はありがとうございました。
- ・中野本町地区の保護者です。現在小4年生、次に一年生になる子どもがいます。説明で、中学3年生には選択できるが以降は措置なしと聞いて驚いています。中学二年生で西中になると分かっている中、友人関係や部活など、すべてにおいて、子どもに負担が大きすぎると思います。交流や連携を十分にとるとおっしゃっていましたが、それがどれだけ効果があるのかもわかりません。転籍が分かっているのなら、三年間同じ中学校に通わせてあげたいと思います。
- ・雁屋地区に住む現在小学5年生の父兄です。中学3年生になる時の転籍にすごく不安を感じています。学年進行方式による転籍を望みます。児童の転籍による不安、環境による変化を一番に考えないといけないのに、それがデメリットとなっている。全学年一斉方式には賛成できません。現在、雁屋地区の4年生、5年生（途中で転籍しないといけない）の人数は、30人くらいだと考えます。中学入学時に南中か西中か選択できるようにして欲しいです。
- ・くすのき小学校 転籍をまともに受けるのは現在の小四、小五の子供達です。雁屋地区はもともとくすのき小の大半が西中へ入学する中、南中へ入学している現状です。廃校による転籍を実行するなら、中野本町地区同様、指定校変更を認めて欲しいです。（小五、小四ともに）入学時から西中へ行かせて欲しい。（子供の不安軽減に対して）綿密な交流や連携と記されているが、全く具体的な内容が明記されていません。内容の明記をお願いします。不安軽減対策として、入学時から転籍校へ進学する事が一番子供達にとって望ましいと考えます。地区の育成会との話し合いの場を設けてもらいたいです。
- ・6年生のくすのき小学校の子どもがいます。昨年育成会をさせていただき、その時に聞いた話では6年生の子どもには関わらないとの事で、雁屋地区の出前講座に出席させていただいた時もそのつもりでいました。しかし、その後、うわさで聞いた話では6年生が中学3年生になる時に、南中から西中へ変わらないとの事で、とてもびっくりしました。娘の南中の懇談に行った時に、今の6年生まで大丈夫と聞きましたが、短期間に話がコロコロ変わり、大変困惑しています。きちんと説明して欲しいです。保護者とももちろん児童にもお願いします。
- ・南小学校小5の保護者です。統廃合は仕方のない話だと思います・・・が、主人公の子供が心身疲れては何の意味もありません。どうかバス、京阪と連携して下さい。子供の学校内でのフォローをお願いします。
- ・市にとってどうでもよい米崎に住んでいます。カラー資料表面③では線路、白黒説明資料P13ではビックボイの道で区切られます。みんなの意見であったように自治会と子どもの親では思いは違います。育成会の役員も6年生でこれからのことには興味がありません。市Pから小学校経由でお手紙をまわしても幼稚園の人達にはまわりません。小学校・中学校が近くにあるから他市から引越してきました。賃貸ならまた引越しますが家を買いました。ここに住んでいる意味がなくなりました。意見交換会の後変更がありました・・・がっかりしました。あの場で意見を言った人だけ変わってました。中野新町は、西中に近いですが、楠公等南小の他地区からみたら小中に近いエリアです。現6年生が中学3年生で南中がつぶれるプランでしたが、1年延びました。うちの子どもが中学3年生での移動となります。前のプランでは児童・生徒への周知が出来ないいいかげんなプランだったのですか?鉄道等の利用を認めていただきました。鉄道等とは何ですか?バスは路線がありません。つくってもらえるのですか?遠いことを認めるなら中野新町だけでなく、指定校変更を南小地区にも認めてください。
- ・田原台在住 今回東部地域（田原地区）のことも取り上げられるようになったが、田原地域はニュータウンができて20年余り。食料品スーパー近商→ドラッグストアアカカベの出店問題、田原台6丁目の研究施設用地の住宅用地への変更・開発、田原地域まちづくり協議会のまちづくりをいかに進めるか、などを含めて、単なる公共施設の再編だけでないまちづくりの視点で考えなければならぬと思います。「中期計画から」となっていますが、「田原」については別途交換会をもってほしいと思うがいかがか。
- ・意見交換会3会場に参加したが、どの会場でももっと小さな単位で膝つきあわせて意見交換しやすいやり方を考えてほしいと要望が出ていました。行政側は出前講座で、と市の方から積極的にやる方向は示さなかった。また、出前講座は市職員が出向いて、となりますが、意見交換会の場にはなり得ないと思いますが、いかがですか。
- ・地域コミュニティづくりはハード面が出てきていますが、市民参画によるまちづくりの推進をどうすすめるようとしているのか見えてこない。中期ワークショップが計画されているが、それはどのような公共施設がよいかというハード面での話のように思う。学校統廃合、校区再編も含めて、「自分たちのまちはいかにあるべきか」のまちづくりも含めてのコミュニティづくりを行政はどう進めようとしているのか。
- ・中野本町に住む者です。 子どもたちが校区再編に大きくかかわっています。次男は中2で小中→西中に転校になります。次男は現在、学校が苦手です。友だちはほぼ全員が小中→西中に残る中、彼だけ変わらなければならないことに親子共々とても不安を感じています。中学校で転校することは子どもにとってとても酷なことだと思います。現在小1の長女も中学校にあがるときに小中→西中から少数の子どもだけ西中に行かなければなりません。中野本

町なら躰小から躰中に入學できると思ひ、安心して暮らしてゐたので本当にショックで納得できないというのが本音です。子供の数が減ってくるので小中学校再編の案については反対の立場ではないのですが、少数の子どもだけが痛みをうけおうことに疑問を感じます。先10年くらいは子どもの意見を尊重して柔軟な対応をして頂けることを強く希望します。(学校の選択など)今後、中野本町の育成会など話し合いを重ねてくださることをお願いいたします。

- ・中野本町在住の者です。校区再編の話、周知が遅すぎて、今やっご近所でワサワサしてきた所です。中野本町の子供たち少ない人数だけが友人関係のできあがっている中学校または小学校の中に入らなければならないという点につき、子供の心の状態を心配します。いかに前もって交流するといわれても、どういう取り組みなのか、そんなことで可能なこととは思えません。躰小に入った子はそろって躰中に入れてやりたいです。躰小→南中に行く子供たちの話も聞きましたが、決してよい話ではないのにどうしてわざわざそういう事例を新たにつくるのか。どうして事を急ぐのか、終わりありきの話の仕方はやめてほしいです。もっと関係する保護者、子供の話を聞いてほしい。
- ・育成会で子どもや保護者の意見を聞くべきだというご意見、全くその通りだと思います。それと、学校の職員にもきちんと説明し、意見を聞くべきだと思います。1回も市の担当者の方からの説明会などありません。校長先生からの簡単な説明について意見や質問を出しましたが、全く返答なし。そんな状態でどんどん話が進められていることに学校現場では、不安と不信感をつのらせています。
- ・統廃合後の子どもへのケアについて、「学校現場でしっかり準備できるように教員の連携、交流を進めていく」など言われていましたが、とても重要な問題であるにもかかわらず、学校では何も話し合いがされていません。
- ・学校が1番大きな当事者でありながら、かやの外のような状態になっていることを、市民の方々にも知っていただきたいです。具体的に動くのは教職員、子ども達です。目の前にせまっている改修工事にどう対応していくのか課題は山積みです。
- ・教師の意見をきいたという話ですが、いつでしょうか。「10月、11月に校長先生を通じて」ということで質問をしましたが、今だに返答がありません。いつ、だれが答えてくれますか。校長のせいですか。教師に対する説明会はナシですか。今、働きながら不安と不満でいっぱいです。教師のことは何も、誰も考えてくれていない不信感の中で、働きつづける苦痛を感じて下さい。各校の体育館で、今回のような場をもつべきです。
- ・通学方法について、現在、「災害時には教師のつきそいで下校」ということもあります。新しい校区でもやるんですか。あきらかに人数が不足しますが。また、電車、バスでの通学中の事故・事件にはどう対応するのですか。
- ・土地の売りによる「収入の見込み」ってなんですか。不確かな財源は不安です。また、「売れない」となった時、パチンコ・葬儀場・工場など地域社会に影響の大きい売り先になるのも不安です。どのような相手に売って何がたつのか明確にして下さい。
- ・☆これらの意見をHPなりなんでも必ず答えてください！！もう無視されるのは嫌です。
- ・2小1中にしようと無理矢理校区編成しようとしていると感じます。他市では1小1中もあります。なぜ南中を廃校にする必要があるのか。中学校ほどきめ細かい指導が必要だと思います。
- ・知人(教師)にたずねたところ、小中連携って何するのかな？という程度。四條躰市ではあまり小中連携は(クラブ見学はあっても)なされていないのでは？他市では英語や理科で小中通して教師が教えに行ったり、授業参観に参加したりしています。学校を統廃合といった器、形式でなく、中身で実施してほしいです。
- ・児童、教師、現場に全く話がなく当事者をのけものにして進めていると感じます。
- ・中野新町→躰中または西中 希望者はとありました。ならば新小学校もくすのき小選択も可能という考えはないですか？
- ・躰中は遠いから電車・バスOK…安易な感じがしました。
- ・出前講座で12/21に説明報告会がありますから、ぜひ来てくださいと言っておられました。参加してみてやはり時間切れ…毎回の説明会もそうでしたが、時間設定が甘いと思います。参加する者は意見があるから参加しているのです。もっと時間をとるべきです。周知方法も足りないです。反対意見を懸念しているとしか考えられません。もっと市民の声を聞いてください。よろしく願います。
- ・(今回のまちづくり長期計画)一世代先まで見通しとありますが、新小学校は384名からのスタートです。2035年まで12~18学級を保持できるのでしょうか？新しい学校を南中を壊してまで造り、また廃校になるようでは市民は納得しないと思います。これが適正配置でしょうか？
- ・中学校はクラブ活動をする事で友達作りや上下関係を学ぶことができる大切な時期だと思います。バスや鉄道を使つての通学では、クラブ活動(朝練などや帰宅時間を考えると)を参加をやめてしまう子供が多くなるとも思います。学年の人数が増えたから単純にクラブ活動がスムーズにできるとは思いません。クラブ活動に参加したくても出来ない子供がでてきてしまいます。(南中があれば参加できたのに)それをどのように考えられますか？(経験すべき事ができなくなる可能性がありますよね？)
- ・通学に保護者の費用負担が生じるのは納得できません。クラブや子供だけでなく親にもかなりの負担になります。
- ・18ページの維持費を比較した表ですが、建物を壊すのにとっても費用が必要です。それは含まれていますか？躰小東小南中総合センター市役所などとりこわす費用がいくらになるのか聞かせて下さい。市民の税金を使いますよね。ホームページで良いので、返答を聞かせて下さい。よろしく願います。
- ・中野本町は校区が変更します。2小学から1中へという方針に反してわずか一部の人数で躰小から西中へ行かなければなりません。躰小・躰中と思ひ家も購入しています。廃校のウワサもなかった(人数は十分足りている)はずの学校なのに突然の変更は受け入れられません。10年くらいは選択制を導入すべきだと思います。30年度中3のみ可能なのは何故？市子連とは話をしたかもしれませんが、下にまで回ってきていません。もっと周知徹底すべきです。
- ・通学路の安全対策を検討するとありますが、なぜ、安全対策なく、雁屋畑線が開通したんですか？
- ・2回ともで納得できないとの声が続出ではこのままのスケジュールですめるべきでないことは明らか。強引な今年度中の計画策定は改めるべき。学校統廃合の計画も含め、1から市民とともに計画をねり直すべき。
- ・PFIによる四日市の学校建替え事業費の説明には不備があります。12月21日(日)14時から開催された『まちづくり経過報告会』で、三重県四日市市のPFIによる4校同時建替え事業で総事業費約60億円との説明がなされました。平成16年に議決されたこの事業で当初予算は、68億4千万円、債務負担限度額89億円で、60億円の説明より約1割以上多いものでした。さらに、昨今は、オリンピックや震災復興の需要による職人不足や

- 建材の高騰があるなか、建設費は高騰しています。例えて言えば、市役所本館が50年前に1億数千万円で建ったと言っているのと大差ありません。何の注釈もなく、10年も前の事業金額を少なめに、市民に知らせることは不当であり、市民に誤った認識を持たせるものです。ここに、市民のみなさんに市の説明の不備をお知らせし、市側の説明の訂正乃至は補足を求めるものです。
- ・この事業の責任者はだれですか？失敗したら（赤字でニッチもサッチもいなくなったら）どうするのですか。不安を解消して下さい。
 - ・この計画では市民の意見など特に案に反対する案を聞くだけ聞いて受け流す体面をつくらせた会だったと感ずます。回答もしないのなら、又は出来ないのであれば市のための動かないでくださいとこの案の責任者に伝えてください。市長の責任を聞いてください。市民負担は迷惑です。
 - ・何を急いでおられるのでしょうか。市としては、24年度から計画を進めていたとはいえ、計画年度が発表されたのは8月であり、たった4ヶ月しか経っていません。どうしても今年度中、決定しなければならない理由を教えてください。
 - ・中学校の廃校を1年遅らせるのであれば、計画そのものの見直しについても、市民の声をじっくりと聞き、その上で検討できる時間を充分にとっても良いのではないかと思います。
 - ・中学校が統合することにより、適正規模を越え大規模になることについて、どう考えているのか。
 - ・今でさえ、学校に登校できない教室に行けない子どもたちがいる中で、さらに遠くなる大規模となり先生の目が行き届かなくなります。そのことについてどのような対策を考えているのか示して下さい。
 - ・市長が出てこないのはなぜか。
 - ・責任者が誰なのか不明の報告会など意味がありません。「検討する」は、どう市民を『納得』させるのかの意味であり、ゴマカシです。市民の声をとりあげるものではありません。もはや手直しではなく、根本的な再検討をしなければならないでしょう。
 - ・現場の子ども達の教育に責任をもつ教員一人ひとりの意見が明らかにされるべきだと思います。校長を通して聞くのではなく、教員が一人ひとり統廃合について意見を述べ検討する場が持たれないまま、案を確定することは許されれないと思います。（ILO／ユネスコの教員の地位に関する勧告を四條畷市として尊重すべきではないでしょうか）
 - ・「土井市長は統廃合に反対と言っていた」と第1回の意見交換会で声が出されていた。ならば、市長は今回の統廃合についてどう考えられているかを市民の前で述べる責任があるのではないのでしょうか。
 - ・統廃合によって20年間の人件費（学校教職員）の削減はいくらになると試算されているのでしょうか。統廃合によって教員一人当りの生徒数は増えるのですか、変わらないのですか？きめこまやかに教育ができなくなるという心配を感じています。
 - ・本日の資料のP4の「学校数を減らさなくても良いのではないか。小規模校を解消する必要があるのか」についての市の考え方に「◎コミュニティ拠点となる小学校を配置します」とありますが、現在ある小学校を廃校にする理由には全くならないでしょう。現在ある小学校を拠点にしたコミュニティはすでにあるし、それをどう発展させるかを考えれば良いのですから。また「◎12学級～18学級では以下のメリットが考えられる」とされていますが、12学級未満の学校でも『先生と子ども、また子どもどうしの仲がよくなる』『先生からよく声をかけてもらえたり、ものすごく丁寧に教えてもらえたりできる』というメリットが考えられることは、P.P.を使って説明されているのではないですか。科学的な検証や分析・保護者の声・現場の教員の声が小規模校解消することを説明する根拠にならないといけないと思います。
 - ・学校教職員の職員団体とは統廃合について意見交換をしたと言われましたが、その意見交換の内容をお聞かせ下さい。
 - ・街づくりへの情熱が見えません。学校再編だけが先行していると思います。少人数学級、子育て支援センターでの離れでも保育を楽しんで買物が出来る制度、地域での公開保育など、若者が住みたくなる施策を思い切って打ち出して下さい。（市民を中心に丁寧にして下さい。）
 - ・再編は、先生、生徒、親の意見を丁寧にして下さい。（小学校、中学校を中心に丁寧にして下さい。）
 - ・市民合意を形成する手続き、手順になっていないと思います。
 - ・12月21日19時からの経過報告会に参加しました。つい最近この計画を知ったという人もいる中、今後の今後のスケジュールを見ると、12月中に再調整、審議に入り、2月には答申となっています。この段階で意見を言っても聞いてもらえるのか、疑問です。実際に報告会では「意見」ではなく「質問」と言われていました。9・10月の意見交換会でも、計画説明が全体の3分の2くらいを占め、残りの時間で参加者にマイクが回ってきたものの、意見を聞くという感じではありませんでした。意見交換会とは名ばかり……。本気で市民の意見を聞くつもりなら、時間を制限しない方が良くと思います（いろいろ事情はあると思いますが）。市側が「意見をお寄せ下さい」と言いながら聞く気がないことは市民も感じているから余計に反発がおきるのだと思います。周知のいう話の中で、市こ連などの団体にも説明をしてきたと言われてました。確かに説明はありましたが、あくまで説明であり、意見を多く聞きたいというものではありませんでした。その席で「これは決定ですか」という質問に対し、説明された市の職員の方が、「案ですが、できる限りこのままで進めたいと考えています」と言われたことをはっきりと覚えています。今思うとその頃から市民の意見は聞きたくないと思っていたんだらうなと、ゴリ押ししたかったんだなと感ずます。今回まで何度か説明を聞きましたが、ここにきてやはり賛成しかねています。50年後の市も大切ですが、まずは今暮らしている市民が、四條畷市民であることに満足し、幸せでいられるかが一番だと思います。そして次の段階で、次世代のことを考える。今日のお話では今も不満、そして将来も不安ということになりそうです。
 - ・学校の統廃合については、枠を先に決めて、そこに子どもをはめこむ、割りふるというやり方に疑問があります。まずは当事者である子どもありきではないですか。統廃合はこれまでもでてきた話ですから必要なのかもしれませんが、子ども中心に考えて進めるべきだと思います。市の西部地域を4分割する意味が全くない。きれいに4つに分けるよりももっと柔軟な子どもに合わせた対応が必要なのではないのでしょうか。
 - ・公共施設の集約については必要性を感じません。小さな市です。市民の多くは自転車で行き来しています。こんな小さなで、公共施設に行くのに、何十分もかかりません。それをさらに集約する意味はどこにあるのでしょうか。これまでに防災面などを含め今のままでは不便だという声がどれほどあったのでしょうか。私自身、保健センターや市役所、市活などを利用しますが、一度に全部を回ることはないですし、もしあっても自転車で5～10分程で回れます。集約することで却って混雑するのではといらぬ心配をさせていただきます。建物が老朽化したら、建て替えればいい。それなら市民も文句は言わないと思いますよ。それから、市役所にコンビニはいりません。市内にはコンビニがたくさんあります。市役所からでも自転車で5分かつら複数のコンビニに行けます。カフェはともかくコンビニは絶対いらぬ。カフェについては、もしどうしてもということになるなら、フードコートみたい

な中途半端なものではなく、ちゃんとしたカフェを作って欲しいです。四條畷にはカフェが少ないですから。でもコンビニはいらない。市役所にコンビニを作っても喜ぶのは市役所の職員さんだけだと思います。

・今回のお話の中で、各団体や自治区の長の意見を聞かれたとのことでしたが、それは、その長、個人の意見に過ぎない場合も少なくないと思います。形だけ了承を得たと思われても仕方ないと思います。実際、小学校でも校長の了承を得ていても教員全員の意見をまとめたのかということも必ずしもそうではありません。ご存知ない先生もおられるということです。同じように私の自治区でも区長の了解を得ていると聞きましたが、区民には何の説明もありませんでした。小学生の子どもを持つ親は、市こ連担当者から育成会に話が伝わり、各班担当者がメールで班員に知らせ、はじめてそこで知ったというのが実情です。そしてその時にはもう10～11月になっていて、意見を、と言われてもじっくり考える間もありませんでした。客観的に見ても、「なぜ、そんなに急いでいるの?と思いませんか?せっかくのまちづくり計画なのだから、もっと時間をかけるべきだし、全国の市町村からうらやましがられるくらい市民の声をとり入れてみてはどうですか。2050年の計画にあわせる必要なんて全くない。どうせやるなら、みんなが納得できるまでとことん話し合ってみてください。

・市民のために職員の方々は、日々、遅くまで働いておられて、大変だと思います。「よりよい市に」という思いで、大きな計画に挑もうとしているのに市民からきついことをたくさん言われて、おつらい立場だと思います。でも市民ひとり一人もまた「よりよい市に」という思いは同じです。職員の皆さんも今一度、一市民の気持ちに立ちかえり、四條畷市民が一体となって「よりよい市」を目指したらどんな素晴らしいかと思います。そのためには、電通をはじめとする民間の業者の意見を聞くよりもまず、市民とひざをつきあわせてとことん話し合う、大変だけれど市民の声をきめ細やかに聞くことにつきるのではないかと思います。長くなってすみません。どうぞよろしく願います。